東京農工大学大学院農学府教育規則の一部改正

現行	改正	改正理由
本則	本則	大学院設置基準の一部を改正する省 令の施行に対応するため
第1条~第4条 省略	第1条~第4条 省略	
(他の専攻等の単位の修得)	(他の専攻等の単位の修得)	
第5条 学生が、学則第76条及び第76条の2(それぞれ第3項を除く。)の規定により他	第5条 学生が、学則第76条及び第76条の2(それぞれ第3項を除く。)の規定により他	
の大学院において修得した単位がある場合は、10単位を限度(4年制博士課程においては4単位を限度)として、第3条第2項又は第3条の2第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。ただし、ダブルディグリープログラムにより、他の大学院において修得した単位については、第3条第2項又は第3条の2第2項に規定する必修科目及び選択必修科目の単位数にも算入することができる。		本学大学院において修得したとみな す単位数と合わせて 15 単位まで算 入することが出来ることとなったた め
2 学生が、他の専攻において修得した単位及び前条第2項の規定により本学の工学府博士前期課程又は生物システム応用科学府博士前期課程において修得した単位がある場合は10単位を限度として、強化科目において修得した単位がある場合は4単位を限度として、第3条第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。	2 学生が、前条第2項の規定により本学の工学府博士前期課程又は生物システム応用科学府博士前期課程において修得した単位がある場合は2単位を限度として、強化科目において修得した単位がある場合は4単位を限度として、第3条第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。	
3 省略	3 省略	
4 省略	4 省略	
	5 第1 項及び第2 項の規定により第3 条第2 項に規定する選択科目の単位数に算入する単位数並び に学則第79 条の規定により本学大学院において修得したものとみなす単位数は、合わせて20 単位 を超えないものとする。	本学学則の改正に合わせ 20 単位を 算入限度としたため
第6 条~第10 条		

区分	文 分	授業科目	単位			区分	授業科目	単 位 数	様式変更
		生物生産科学概論Ⅰ	数 ○1				21世紀農学特論 生物生産科学概論 I	©1 ○1	
		生物生産科学概論 II 応用生命化学概論 I	O1 O1				生物生産科学概論 II 応用生命化学概論 I	O1 O1	
		応用生命化学概論 II 自然環境資源学概論 I	O1 O1				応用生命化学概論 II 自然環境資源学概論 I	O1 O1	
共通基礎科目		自然環境資源学概論 I 食農情報工学概論 I 食農情報工学概論 II	010101			共通	自然環境資源学概論 II 食農情報工学概論 I	O1 O1	
		地球社会学概論 I 地球社会学概論 II	O1 O1				食農情報工学概論 II 地球社会学概論 I	O1 O1	
		国際イノベーション農学概論 I 国際イノベーション農学概論 II	O1 O1			基礎科品	地球社会学概論Ⅱ 国際イノベーション農学概論Ⅰ	O1 O1	
		農と工の科学概論 21世紀農学特論	1			目	国際イノベーション農学概論 II 農と工の科学概論	01	
		異文化コミュニケーション学 Advanced lecture of Green, Food, and Life science	2	-			異文化コミュニケーション学 Advanced lecture of Green, Food, and Life science	1	
		Arts of Intercultural Communication 農学特論 I	2				Arts of Intercultural Communication 農学特論 I	1	
		農学特論 II 日本語 I	2 2				農学特論 II 日本語 I	2 2	
		日本語 II 農学実験計画法および統計解析演習 I	2				日本語 II 農学実験計画法および統計解析演習 I	1	
		農学実験計画法および統計解析演習Ⅱ フィールド・ラボ安全管理と研究倫理Ⅰ	1				農学実験計画法および統計解析演習 II フィールド・ラボ安全管理と研究倫理 I フィールド・ラボ安全管理と研究倫理 II	1	
		フィールド・ラボ安全管理と研究倫理Ⅱ 知財の管理と運用	1				知財の管理と運用 空間情報解析演習	1	
共 通 演	共 空間 農学	空間情報解析演習 農学課題別演習	1	 - -		共通演習	農学課題別演習 国内外特別演習	1	
習科目		国内外特別演習 国際研究プレゼンテーション演習 I	01			習 科 目	国際研究プレゼンテーション演習 I 国際研究プレゼンテーション演習 II	O1 O1	
,		国際研究プレゼンテーション演習 II 農学演習 I	2				農学演習 I 農学演習 II	2 2	
		農学演習Ⅲ 農学演習Ⅲ 農学演習Ⅳ	2 2				農学演習Ⅲ 農学演習Ⅳ	2 2	
	1	農学演習IV 農学演習 V 生産環境科学 I	2 2		}		農学演習V 生産環境科学 I	2 2	
		生産環境科学 II 植物生産科学 I	2 2	<u> </u>			生産環境科学Ⅱ 植物生産科学Ⅰ	2 2	
	生	植物生産科学Ⅱ 動物生産科学Ⅰ	2 2				植物生産科学Ⅱ 生 動物生産科学Ⅰ 物	2 2	
	物生	動物生産科学 II 生物制御科学 I	2 2				生 動物生産科学Ⅱ 産 生物制御科学Ⅱ 科	2 2	
	1 17	生物制御科学Ⅲ 生物制御科学Ⅲ	2 2				学 生物制御科学Ⅲ 生物制御科学Ⅲ 生物制御科学Ⅲ	2 2	
	ス	生物制御科学IV 生物生産科学特論 I	2				ス 生物制御科学IV 生物生産科学特論 I	1	
		生物生産科学特論 II 生物生産科学特論 III	1				生物生産科学特論 II 生物生産科学特論 III	1	
		生物生産科学特論IV 生体分子化学 I	1 2				生物生産科学特論IV 生体分子化学 I 生体分子化学 II	2 2	
		生体分子化学Ⅱ 生理生化学Ⅰ	2 2				生理生化学 I 空 生理生化学 I	2 2	
	生 4	生理生化学Ⅱ 健康長寿科学Ⅰ	2 2				用 生 健康長寿科学 I 命 健康長寿科学 II	2 2	
	11/2	健康長寿科学Ⅱ 応用生命化学特論 I	1				化	1	
	コス	応用生命化学特論Ⅲ 応用生命化学特論Ⅲ 応用生命化学特論Ⅳ	1				応用生命化学特論Ⅲ 応用生命化学特論Ⅳ	1	
		応用生命化学特論 V 応用生命化学特論 VI	1				応用生命化学特論 V 応用生命化学特論 VI	1	
		環境資源材料学 I 環境資源材料学 II	2				環境資源材料学 I 環境資源材料学 II	2 2	
		資源機能制御学 I 資源機能制御学 II	2 2				資源機能制御学 I 資源機能制御学 II	2 2	
		環境生物学 I 環境生物学 Ⅲ	2 2				環境生物学Ⅱ 環境生物学Ⅲ	2 2	
		環境化学 I 環境化学 II	2 2				環境化学Ⅰ環境化学Ⅱ	2 2	
	自然	生態系保全学 I 生態系保全学 II	2 2				生態系保全学 I 自 生態系保全学 II 生態系保全学 II	2 2 2	
専門	環境資	生態系保全学Ⅲ 森林環境保全学 I	2 2			専 門 科	境 森林環境保全学 I 森林環境保全学 II	2 2	
科目	源コー	森林環境保全学Ⅲ 森林環境保全学Ⅲ	R全学Ⅲ 2		目	本林環境保全学Ⅲ a a a c c c c c c c	2 2		
	ス	自然環境資源学特論 I 自然環境資源学特論 II	2 2				自然環境資源学特論 II 自然環境資源学特論 III	2 2	
		自然環境資源学特論IV 自然環境資源学特論V	2 2				自然環境資源学特論IV 自然環境資源学特論V	2 2	
		自然環境資源学特論VI 自然環境資源学特論VII	2				自然環境資源学特論VI 自然環境資源学特論VI	2 2	
		自然環境資源学特論WI 自然環境資源学特論IX	2 2				自然環境資源学特論IX 自然環境資源学特論IX	2 2	
		自然環境資源学特論 X 地域環境工学 I	2 2				自然環境資源学特論 X (食	2 2	
	食農情報	地域環境工学Ⅲ 地域環境工学Ⅲ	2 2				農 地域環境工学Ⅲ 地域環境工学Ⅲ エ	2 2	
	工学コ	生物生産工学 I 生物生産工学 II	2				工 生物生産工学 I 学	2 2 2	
	ス	生物生産工学Ⅲ 食農情報工学特論 I	2 2				1 生物生産エテⅢ 食農情報工学特論 I 共生人間学 I	2 2 2	
	7-L	共生人間学 I 共生人間学 II	2 2				地 共生人間学 II 環境社会関係学 I	2 2	
	社会	環境社会関係学 I 環境社会関係学 II	2 2				社 環境社会関係学Ⅱ	2 2	
	1	食料環境経済学 I 食料環境経済学 II 食料環境経済学 II	2 2				ュ 良料環境経済学Ⅲ 食料環境経済学Ⅲ	2 2	
		食料環境経済学Ⅲ 地球社会学特論 I 国際環境修復保会学 I	2 2				地球社会学特論 I 国際環境修復保全学 I	2 2	
	国際イ	国際環境修復保全学 I 国際環境修復保全学 II 国際生物生産資源学 I	2 2				国際環境修復保全学Ⅱ イ 国際生物生産資源学Ⅰ	2 2	
	ノベー	国際生物生産資源学 II 国際応用生命化学 I	2 2				フ	2 2	
論文関連科目 特別研究	ション	国際応用生命化学 II 国際地域開発学 I	2 2				ショ 国際応用生命化学Ⅱ ン 国際地域開発学Ⅰ 農	2 2	
	農学コー	国際地域開発学 II 国際応用動物学 I	2 2				展 学 コ 国際応用動物学 I	2 2	
	コス	国際応用動物学 II 国際イノベーション農学特論 I	2 2				国際応用動物学Ⅱ 国際イノベーション農学特論Ⅰ	2 2	
		農学特別研究 I 農学特別研究 II	◎4○1				農学特別研究 I 農学特別研究 II A	⊚4○1	
		農学展開研究 I 農学展開研究 II	01			特 別 論 研	農学展開研究Ⅱ	O1 O1	
		農学特別研究Ⅲ 農学特別研究Ⅳ	©4 ○1			一	農学特別研究IV B	© 4 ○ 1	
	В	農学展開研究Ⅲ 農学展開研究Ⅳ	O1 O1			科 目	農学展開研究Ⅲ 農学展開研究Ⅳ 農学特別演習 I	O1 O1	
	特別溶	農学特別演習 I 農学特別演習 II	◎4			, 5 1	専 農学特別演習Ⅱ 論文レビュー特別演習Ⅰ	<u></u>	
	演 習	論文レビュー特別演習 I 論文レビュー特別演習 II	◎2				論文レビュー特別演習Ⅱ	©2	

2

東京農工大学大学院農学府教育規則の一部改正

	現 行	改正	改正理由
別紙様式1 (第7条の2第2 (修士課程)	2 項関係) 年 月 日	別紙様式1 (第7条の2第2項関係) (修士課程) 年 月 日	
東京農工大学大学院 農学府長 殿		東京農工大学大学院農学府長一殿	
		修士課程 農学専攻 コース プログラム 学籍番号 氏 名	
	研究題目届	研 究 題 目 届	
研究題目		研究題目	
研究計画		研究計画	
指導教員	(1)	指導教員	甲印省略のため
備考		備 考	
※ 指導教員:学生の研究指導に	 に当たる資格を有する教員とする	※ 指導教員:学生の研究指導に当たる資格を有する教員とする	

東京農工大学大学院農学府教育規則の一部改正

	現。行	改正	改正理由
別紙様式2(第7条の2第2項関係)	別紙様式 2(第 7 条の 2 第 2 項関係)	
(4年生博士課程)	,	(4年生博士課程)	
	年 月 日	年 月 日	
丰		東京農工大学大学院	
東京農工大学大学院 農学府長 殿		農学府長一殿	
	年度入学 4 年制博士課程 専攻	4年制博士課程 専攻	
	講座	講座	
	学籍番号	<u>学籍番号</u>	
	氏 名	<u>氏 名</u>	
石	研究 題 目 届	研	
研究題目		研 究 題 目	
研究計画			
,, , <u>,</u>			
			甲印省略のため
主指導教員※1			・ドリー目 単立 ひノノこびノ
導			
教 第1副指導教員※2		数 第一副指導教員※2	
名		_ A	
第2副指導教員※3	-	第二副指導教員※3	
備考			
-			
※1 主指導教員:学生の研究指導に当た		※1 主指導教員:学生の研究指導に当たる資格を有する自大学の教員とする	
	っに、学生の研究指導に当たる資格を有する自大学の教員とする もに、学生の研究指導に当たる資格を有する相手大学の教員とする	※2 第一副指導教員:主指導教員とともに、学生の研究指導に当たる資格を有する自大学の教員とする ※3 第二副指導教員:主指導教員とともに、学生の研究指導に当たる資格を有する相手大学の教員とする	
(なお、副指導教員の所属講座は主	指導教員と同じ講座でなくとも可とする)	(なお、副指導教員の所属講座は主指導教員と同じ講座でなくとも可とする)	

- 附 則(令和3年4月1日農規則第1号) 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第5条1項の改正規定は、令和2年6月30日から適用する。
- 2 令和3年3月31日現在在学している者の授業科目の名称及び単位数並びに必修又は選択の別、教育課程については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。